

波音

なみおと



清水海岸だより 第8号(H21.4)



第8号の内容

- 特集：海岸養浜事業の効果（平成15年と20年の土量の堆積比較）
- 清水海岸事業ファイル⑧：海岸植物保護・育成事業

PHOTO：窪田 敏

三保の自然を題材にした絵画シリーズ(6)

〈三保松原・巖島図屏風〉
のうち

『三保松原図』

作者不明

静岡県立美術館収蔵品



三保松原だけでなく駿河国の東海道沿いの名所を描いた屏風。駿府城・久能山東照宮、江尻の町並み、名刹として名高い清見寺、難所として知られる薩陀峠などが旅人の姿とともに描かれる。寛永～寛文初年(1624～61)頃の制作と考えられる貴重な名所風俗図で、富士山が小さく描かれるのが、かえって珍しい。(静岡県立美術館図録「富士山の絵画」より抜粋)

特集

海岸養浜事業の効果

〈平成15年と20年の土量の堆積比較〉

静岡県では、清水海岸の侵食対策として平成2年度より養浜工事を実施しております。この養浜の効果について、年2回の海岸測量を行い、経過観測を行っております。今回は、5年前の海岸地形と比較し土の移動がどのようなようになったかを紹介します。赤い色が濃い部分が5年前よりも土の厚さが多くなった部分で、青色が薄くなった部分をあらわしています。なお、この養浜事業は、平成27年まで予定しています。



①三保飛行場付近



②鎌ヶ崎付近



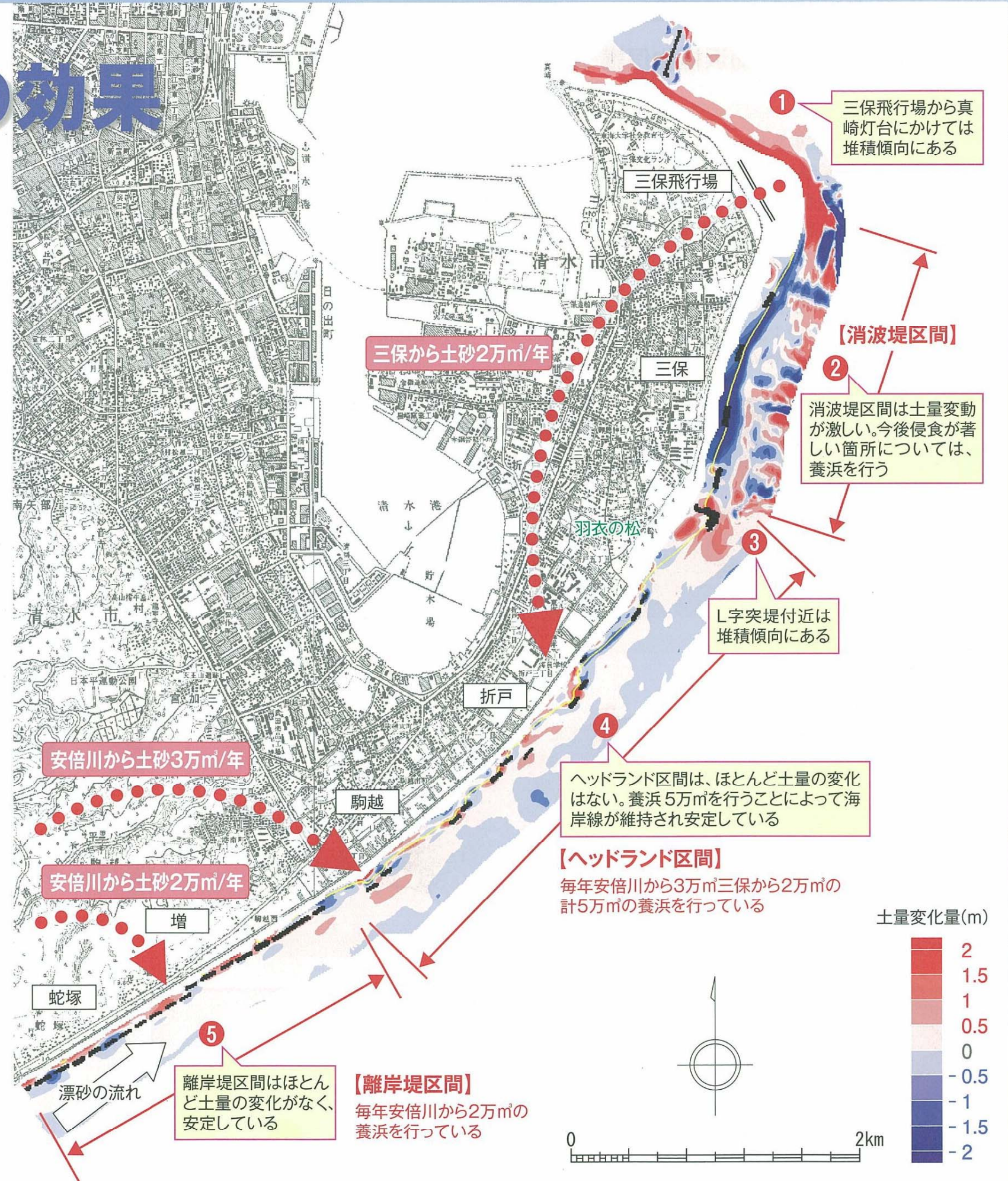
③羽衣の松南西側



④清水南高校付近



⑥150号バイパス増地区



【海浜植物保護・育成事業】

海浜植物保護・育成事業とは、年々海浜植物が減少している三保海岸を、地元関係者が中心となって、海浜植物を保護・育成し、さらには育てたものを植栽することで、将来的に三保海岸の観光資源のひとつにしようとする活動の支援事業です。平成17年度には、海浜植物の植栽・保護等の先進地でもある下田海岸と御前崎海岸の視察をし、平成18年度からは、三保真崎海岸にモデル的に苗床を整備しハマユウを育成しています。

- 事業名：海浜植物保護・育成事業
- 参加者(現在)：旅館・ホテル・民宿・大学を中心にした地元関係者
- 事務局：(財)静岡観光コンベンション協会



ハマユウの苗床



ハマユウの植え付け作業



三保真崎海岸
ハマユウの苗床



お問合せ、ご意見はこちらまで

静岡県静岡土木事務所
静岡市駿河区有明町2-20 (〒422-8031)
TEL 054-286-9156 FAX 054-286-9100

◇静岡県静岡土木事務所工事第二課 発行◇